

北海道余市紅志高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和 7 年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	地域の農業生産を反映した新教育課程を編成、運用した農業学習、実習に取り組みます。	B	障がいをもつ人たちの農業分野での社会参画を実現するために、「地域園芸」で札幌心療福祉専門学校や余市養護学校と農福連携を行い、作業手順書の作成に取り組みます。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	世界へむけた地域の農業学習発信に取り組みます。	A	JR特急ニセコ号において本校生産物の車内販売をとおり、本校国際理解系列と連携し製品の英語表記を訪日外国人観光客へ向けに行います。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	地域農業理解推進に取り組みます。	A	地域のヴィンヤードやワイナリーと連携したブドウ栽培学習やワイン醸造学習に取り組みます。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	農業科、商業科の特性を活かした生産ビジネス系列を新たに設置し、6次産業化に取り組みます。	A	持続的なワインブドウ栽培やトマト栽培など地域農業を学習し、トマトケチャップの商品化や活用、ワイン販売の販路拡大など実践的学習、実習に取り組みます。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	地域環境保全へむけた学習に取り組みます。	B	独立行政法人北海道総合機構中央水産試験場による地域環境学習を行い、地域の水環境保全に取り組みます。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	地域の特産果樹を活用した商品開発に取り組みます。	B	(1) 近隣企業と連携をし、トマトを活用した商品の活用に取り組みます。 (2) ワインブドウの絞りかすを使用した商品開発に取り組みます。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	ICTを活用した生産データ、販売データを集約し、新たな価値創造していくための土台づくりに取り組みます。	B	データの集約と地域農業、地域の(人的・物的)資源を融合させ、活用するためのデータ整備に継続的に取り組みます。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	津波防災に重点的に取り組み、非常時の防災、減災に取り組みます。	B	地域のハザードマップの確認と、避難場所や経路の周知を行います。